



ア あなたも私も久木野のみんなで イ いつでもどこでも エ エコアクション! ス すてきな心の オー おもいやり

はじめに

【久木野小ってどんなところ?】

水俣市の東部に位置し、校区には地域住民の努力によって育てられた分収林があり、「愛林の里」と呼ばれる久木野。東は球磨郡球磨村、南は鹿児島県伊佐市、北は葦北郡芦北町に接する自然豊かなところ。全校児童13名、極小規模校（完全複式3学級）であり、全員仲よく元気に学校生活を送っている。



児童の実態と今年度の方向性

子どもたちは自然とふれあう機会（体験活動）が充実しており、「自然を大切にしたい」という思いは強い。また、節水・節電・ごみの分別は意識が高まり、達成率も高まってきている。昨年度の取組から見えてきた課題は、「取組や成果の見える化」と「家庭でのISO活動の推進」であった。そこで、昨年度までの取組を踏まえながら、今年度も、児童一人ひとりが具体的な行動目標を意識した生活を送り、その積み重ねの中で少しずつ成果が出せる環境活動を目指すことにした。

組織作り

みんなで取り組む学校版環境ISO活動は、環境美化委員会が中心となって活動している。



1. 宣言

久木野小学校版環境ISO宣言 行動目標

- 【節水】 ①水を大切にします
- 【節電】 ②電気を節約します
- 【ごみ減量】 ③ごみの分別・減量をします
- 【環境美化】 ④花いっぱいになります
- 【意識向上】 ⑤自分で決めた環境行動目標を守ります
- 【家庭での実践】 ⑥上の①②③⑤の項目を家庭でも取り組みます

【手立て】 実現するために

- | 【児童】 | 【職員】 |
|------------------------------|----------------------------|
| ○水道は鉛筆の太さで使う。 | ○コップ1杯の水で歯磨きをする。 |
| ○コップ1杯の水で歯磨きする。 | ○バケツの水で雑巾を洗うよう指導し、一緒に掃除する。 |
| ○バケツの水で雑巾を洗う。 | ○明るさをみて照明量を調整する。 |
| ○誰もいない教室の電気は消す。 | ○身の回りの電気製品のスイッチをこまめに切る。 |
| ○使わない電気製品のコンセントはぬく。 | ○ごみ分別を徹底する。 |
| ○燃やすごみ・廃プラ・紙ごみの3つは特に注意して分ける。 | ○職員への配付資料は裏紙を使用する。 |
| ○給食は残さない。 | ○給食は残さない。 |
| ○花壇や学級園の草取り、手入れをする。 | ○運動場の草取りや石拾いをする。 |

【数値目標】 水及び電気の使用量昨年度比5%減

今年度の行動目標として「節水」、「節電」、「ゴミの減量」、「環境美化」、「意識向上」、「家庭での実践」の6つの項目を設定した。

また、本年度の学校キャッチフレーズ「自分から行動を起こそう〜真心・笑顔・久木野小〜」のもと、児童と教師21人全員がそれぞれの環境目標を設定し、取り組んでいくことを共通理解した。



みんなに節電や家庭での実践について考えてもらうために、児童の寸劇を入れたO×クイズを行った。



久木野小学校のキャラクター「くぎのん」からのメッセージを入れた「環境ISO行動目標」をISOコーナーや各教室、職員室など様々な場所に掲示している。

2. 行動

具体的な取組

【節水の取組】



縦割り班掃除時におけるバケツを使つての雑巾洗いは、定着してきている。水の量もバケツの半分程度にするなど、使用する量にも気を配っている。

【節電の取組】

児童の係活動の一環として、下校時に使用しない電源コードは抜いて帰るなどの工夫をしている。また、その日の天候に応じて、掃除時間は蛍光灯を消すなど照明量の調節をしている。



【ごみ減量の取組】



裏紙として利用できるプリントや色画用紙の切れ端を再利用するために、教室に専用ボックスをおいている。また、職員間の配布物は裏紙利用が定着してきた。

【環境美化の取組】

全校一斉の業間活動「エコタイム」を活用して、花の苗植え・花壇の整備等を行っている。回を重ねる毎に苗の植え替えにも慣れ、手際よく作業できるようになってきた。



【意識向上の取組】

久木野小 環境ISO行動目標

- ①水を大切にします。
- ②電気を節約します。
- ③ごみの分別・減量をします。
- ④花いっぱいになります。
- ⑤自分で決めた環境行動目標を守ります。
- ⑥家庭でも環境ISO活動を実践します。

環境ISOチェック項目で「家庭でも節電・節水・ごみ減量に取り組みます」という項目の達成率が一番低かったため、児童集会ですぐに呼びかけ意識の向上を図った。

【家庭での実践の取組】

委員会メンバーの発案で、ISO環境標語の募集をした。それをミニポスターにし、各家庭で掲示して家庭での実践につなげる。

「環境標語」大ぼしゅう!!!



【エコタイム】



毎月『エコタイム』という時間を設け、特別教室や外庭の掃除を行ったり、花を植えたりし、学校の美化に努めている。プランターや鉢、花壇に植える苗は職員が率先して種から育てており、育った苗は数えきれないほどある。地域の方々にもクリスマスプレゼントとして配付することができ、大変喜ばれた。

【地域清掃】



年間を通じて5回程度、学校のそばにある「愛林館」周辺の清掃活動（草取り・ごみ拾い・落ち葉掃きなど）を行っている。休みの日などによく遊ぶ場所であり、身近なところから環境美化の大切さを考えるよい機会になっている。

【地域の自然を生かした活動】

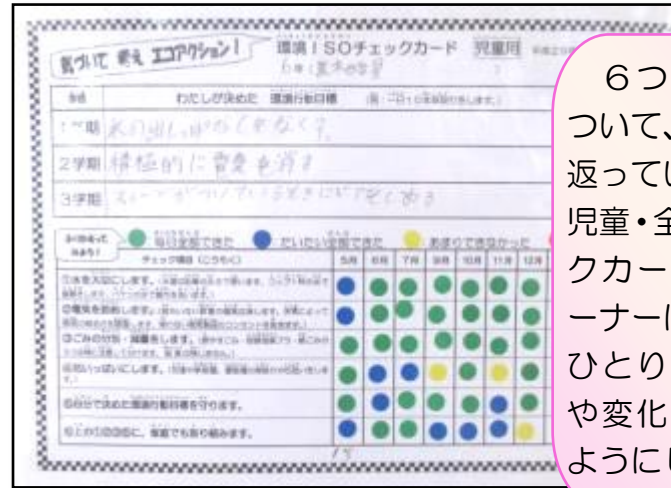
【資源回収への参加】



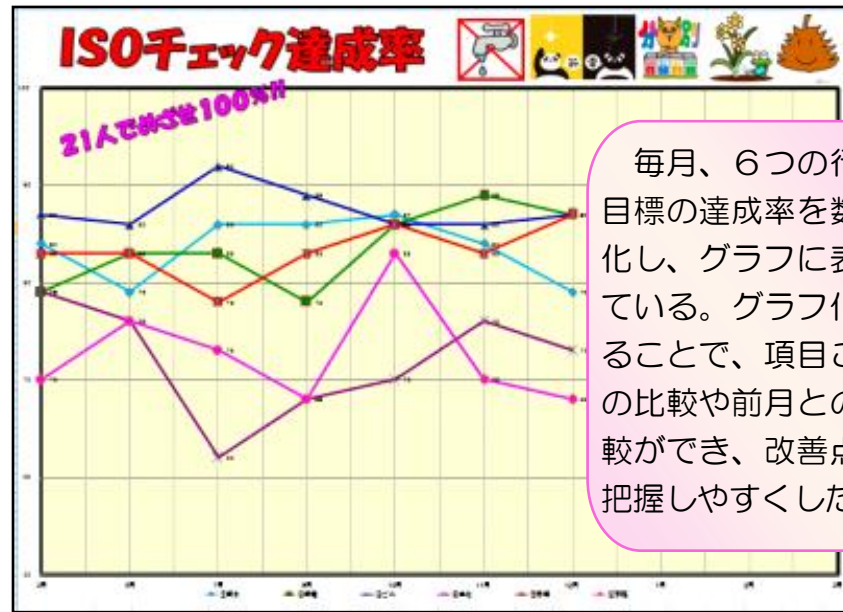
土曜授業では、地域の自然を生かした活動を積極的に取り入れている。また、資源（ビンやアルミ缶）回収の際には、子どもたちも積極的に参加し、保護者や地域の方とも協力して活動している。

3. 記録

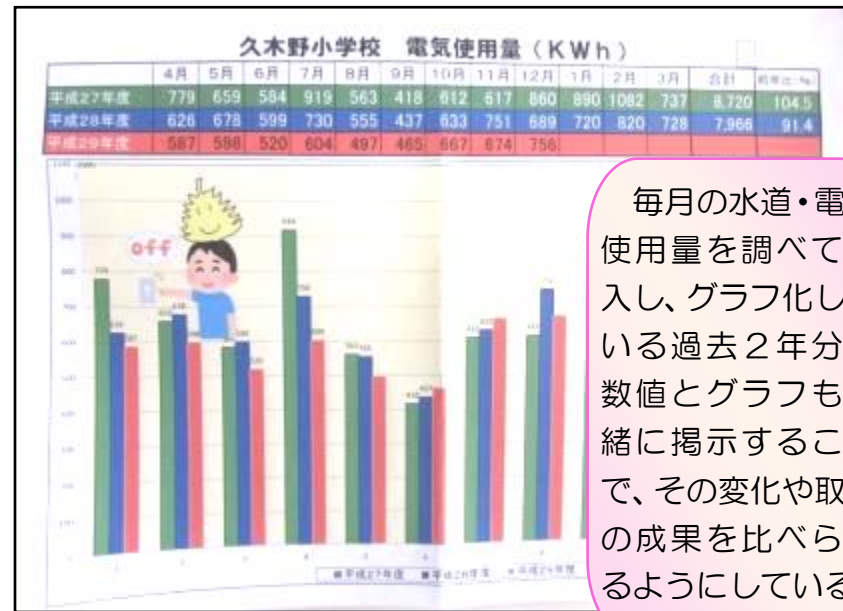
【チェックカードとその達成率】



6つの行動目標について、月ごとに振り返っている。また、全児童・全職員のチェックカードをISOコーナーに掲示し、一人ひとりの取組の様子や変化を確認できるようにした。



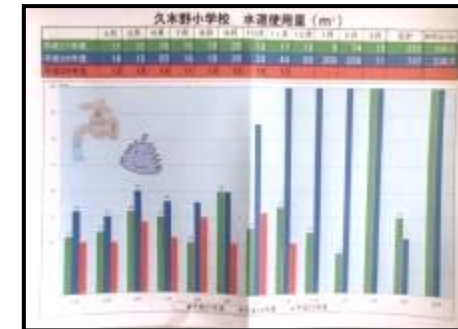
毎月、6つの行動目標の達成率を数値化し、グラフに表している。グラフ化することで、項目ごとの比較や前月との比較ができ、改善点を把握しやすくなった。



毎月の水道・電気使用量を調べて記入し、グラフ化している過去2年分の数値とグラフも一緒に掲示することで、その変化や取組の成果を比べられるようにしている。

4. 見直し（成果と課題）

【使用量のグラフから】



水の使用量は、昨年度を下回り、前年度比5%減が達成できそうである。一昨年度との比較においても僅かではあるが下回っている。小さな取組の積み重ねによる成果だと思われる。



電気使用量も昨年度を下回り、前年比5%減を達成できそうである。ただ、2学期後半になって使用量が増えてきているため、今後、校内放送などで呼びかける予定である。

【行動目標の達成率から（%）】

	①節水	②節電	③ごみ減量	④環境美化	⑤意識向上	⑥家庭実践
昨年度末	80	76	89	70	79	62
5月	84	79	87	79	83	70
11月	84	89	86	76	83	70

5月と11月の達成率を比較すると、「節電」に関しては10%上昇したが、その他の項目では70~80%程度の現状維持となった。

また、昨年度からの課題であった「家庭実践」に関しては、70%まで意識の高まりが見られるようになった。

【成果と課題・今後の方策】

- 行動目標の振り返りを毎月行い、それを「見える化」することで成果が感じられ、意識して行動しようとする児童が増えている。
- 学校での継続的な取組が、少しずつではあるが「家庭での実践」を後押ししていると感じている。今後も、習慣化に向けた取組を続けていきたい。
- 環境美化委員会の活動が、当番的な活動になりがちだったことを反省し、今後は「やって楽しいエコ活動」「知って役立つエコ生活」など、自分たちでアイデアを出し、さらに意欲的に活動できるようにしたい。